

新年のごあいさつ

吹田市議会議員
石川 勝



新年明けましておめでとうございます。
市民のみなさまにおかれましては、すがすがしい新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。
さて、感染が拡大し始めてから2年近くとなる新型コロナウイルス感染症は、ワクチンの接種や抗体カクテル療法の活用などにより、重症化リスクは軽減されてきているものの、依然として医療提供体制のひっ迫を伴う感染再拡大の可能性が懸念されており、いまだ緊張感を緩めることができない状況が続いております。
市議会では、感染拡大以降、定例会以外にも複数回の臨時会を開催し、新型コロナウイルス感染症対策関連予算を可決するなど、市民のみなさまが必要とする支援を迅速かつ確実にお届けできるよう、鋭意対応してまいりました。今後も、市民のみなさまの生活の安定に向けた継続的な支援策をさらに推進するため、活発な議論を重ね、慎重かつ的確な判断を怠らない所存でありますので、引き続き、市議会に対するみなさまのご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。
結びではございますが、市民のみなさまにとりまして、本年がご健勝にて幸多き、希望に満ちた一年となりますよう心から祈念申し上げます。年頭にあたりましてのごあいさつとさせていただきます。

吹田市長
後藤 圭二



明けましておめでとうございます。
みなさまが、健やかに新年を迎えられたことと心よりお喜び申し上げます。
すでに2年間、医療関係者などエッセンシャルワーカーをはじめ、社会全体として新型コロナウイルス感染症との戦いを繰り広げてまいりました。いまだ明確な出口は見えませんが、これまでに得た知見や感染予防対策、重症化防止方策などを武器に、吹田市は引き続き市民生活の安定に向けた取り組みを継続してまいります。
コロナ禍において、支援が必要な人や子供たち、文化スポーツを楽しみにしている人など多くの人の行動が制限され、隣人や仲間との密接な関わりから生まれるものの大切さに、私たちは改めて気付かされました。
新型コロナウイルス感染症のみならず、近年頻発する大規模自然災害など、私たちは今、生き方や価値観、社会のあるべき姿を見つめ直す大きなうねりの中にいます。その中で、守ること、作り育むこと、変革すべきことを見極めながら、引き続き、「直ちに必要なこと」、そして将来の吹田にとって「これから必要になること」を改めてみなさまに寄り添い、答えを追い求める一年にしなければならぬ、そう決意を固くしています。
みなさまにとって本年が幸多き一年となりますよう心からお祈り申し上げます。